

平成 29 年度施策推進方針

平成 28 年 10 月 7 日
予算編成会議決定

I 基本的な考え方

- 平成 26 年 3 月に県政の運営指針として、6 つの重点戦略を推進する「第 2 期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定し、これまで 2 年余りの間、時代の潮流を踏まえながら、先駆的な取組を積極的に展開してきた。
- また、平成 27 年 10 月には、4 つの基本目標の下、秋田の創生につながる攻めの取組を盛り込んだ「あきた未来総合戦略」を策定し、「人口減少の克服」と「秋田の創生」の実現に向けた施策・事業を進めている。
- これらの取組により様々な成果が現れているが、来年度は、最終年度を迎える「第 2 期ふるさと秋田元気創造プラン」や 3 年目となる「あきた未来総合戦略」に基づき、これまでの成果や課題、社会経済情勢の変化等を踏まえながら、秋田の創生や県民の生活を支える基盤づくりに向けた取組を一層加速していく必要がある。

II 「あきた未来総合戦略」の推進

次の 4 つの基本目標に掲げる施策について、全庁を挙げて推進する。

基本目標 1 産業振興による仕事づくり

航空機産業など、成長分野への新たな事業展開とそれを担う人材の育成を進めるとともに、地域経済を牽引する中核企業の育成や、起業及び事業承継に対する支援体制の充実、県内企業の競争力強化、産業拠点の形成等を促進する。

また、農林水産業の成長産業化に向けて、強い経営体の育成、米依存から複合型生産構造への転換、6 次産業化を推進するとともに、「ウッドファースト」による県産材の利用拡大や林業大学校を核とした人材育成を進める。

さらに、総合戦略産業としての観光を推進しながら文化やスポーツを一体的に捉えた取組を進めることにより、交流人口の拡大を図り、地域経済への波及効果を高める。

(1) 地域産業の競争力強化

(ア) 成長分野への事業展開と中核企業の育成

- ・ 航空機産業分野における部品等の一貫生産体制構築に対する支援など、成長分野における産業インフラの整備等による産業振興
- ・ 新エネルギー先進県として、洋上風力発電の事業化に向けた取組や関連産業の人材育成等の促進
- ・ ものづくり中核企業の新たな成長に向けた支援による地域経済への波及効果の創出
- ・ 航空機の複合材の製造拠点化を目指した産学官連携による新たな製造技術開発等の推進 など

(イ) 企業の経営基盤の強化と産業拠点の形成

- ・ グローバル市場で勝ち抜くための県内企業の競争力の強化
- ・ 県内企業による海外展開の拡大と、産業拠点の形成に向けた秋田港の機能強化
- ・ 競争力強化や販路開拓の取組等による食品産業、商業・サービス業や伝統的工芸品等産業の振興
- ・ 成長分野をターゲットとした企業誘致等や産業集積の強化 など

(ウ) 起業と事業承継の推進

- ・ 若者の定着につながる起業家人材育成の取組等による起業の推進
- ・ 県内企業の後継者確保等による円滑な事業承継の推進 など

(エ) 産業人材の育成

- ・ 更なる成長が見込まれる輸送機や医療機器等の産業分野での高度な人材の育成
- ・ 高校生や大学生、Aターン就職希望者等の県内就職の一層の促進
- ・ 中学3年生の英検3級以上取得率全国一を踏まえた、英語コミュニケーション能力育成の更なる推進 など

(2) 農林水産業の成長産業化の促進

(ア) 強い担い手づくりと新規就農の促進

- ・ 農地中間管理機構を活用した経営の規模拡大や、複合化などに取り組む地域農業を担う経営体の育成強化
- ・ 企業感覚やグローバル感覚に優れた経営者を育成するなど、多様なニーズに対応した研修制度の充実
- ・ 県外からの移住による農林水産業への就業やアグリビジネスの起業促進
- ・ 担い手不足や高齢化に対応した県独自の就農支援対策の充実 など

(イ) 複合型生産構造への転換の加速化

- ・ メガ団地やネットワーク型団地を始めとする大規模園芸拠点や、大規模畜産団地の全県展開

- ・ えだまめに次ぐ日本一を目指す新たな品目の創出と産地化に向けた支援
- ・ 地域の資源を生かし一定の所得を確保できる中山間地対策の推進
- ・ 条件不利地域の農地を守り地域に根ざした営農を行う経営体への支援
- ・ メガ団地の整備等と連携した生産性の高いほ場条件の整備
- ・ 米政策の見直しに対応した実需者との結び付きを強化する取組の促進
など

(ウ) 農林水産物の高付加価値化と流通販売対策の強化

- ・ 異業種との連携強化の促進などによる県産農産物の6次産業化の推進
- ・ マーケットの動向や消費者・実需者ニーズを踏まえたマッチングの推進
- ・ 大手物流企業との連携による関西などエリアを広げた新たな販路開拓への支援
- ・ 多様なオリジナル品種（米、秋田牛、秋田紅あかり、北限の桃）など、秋田の強みを生かした輸出促進
- ・ 新たな栽培漁業施設の整備促進、本県漁業の特長を生かした水産物のブランド確立や新たな水産ビジネスの推進
など

(エ) 「ウッドファーストあきた」の推進による林業雇用の拡大

- ・ 「ウッドファーストあきた」県民運動やオリンピック・パラリンピック等を契機とした木材・木製品の需要拡大促進
- ・ 日本一のスギ資源を循環利用する皆伐再造林の着実な実施
- ・ 今後の素材生産の増加や再造林の拡大等に対応する秋田林業大学校を核とした新規就業者の確保・育成
など

(3) 観光を中心とした交流人口の拡大

(ア) 「ユタカなアキタ」の魅力発信

- ・ 台湾、韓国、タイ等をターゲットとした集中的なプロモーションと、「セカンドデスティネーション戦略」の展開
- ・ 首都圏等における大型観光キャンペーンの展開と、「秋田犬の里」の魅力発信
- ・ 秋田ファンの拡大を誘客につなげる仕掛けの構築
- ・ 事業者支援による県産品の販路拡大と、海外に拠点を持つ事業者との連携強化等による日本酒や食品の輸出促進
など

(イ) 「みんなにやさしい観光あきたづくり」の推進

- ・ 外国人旅行者の増加に対応した二次アクセスの充実など、受入態勢の整備促進
- ・ 旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化などに対応した民間宿泊施設の改修等への支援
など

(ウ) 文化・スポーツ等による地域の元気創出

- ・ 秋田ならではの文化資源の活用と国内外への発信による交流人口の拡大

- ・ F I S ワールドカップモーグル大会など大規模スポーツ大会の開催と、海外ナショナルチーム等の合宿の誘致促進
- ・ トップスポーツチームの支援等を通じた地域の元気創出 など

(エ) 交流を支える交通ネットワークの推進

- ・ 秋田の未来を担う奥羽・羽越新幹線の実現に向けた、官民が一体となった活動の推進
- ・ 観光や経済の振興など広域交流の基盤である航空路線の維持・拡充等による広域交通の機能強化
- ・ 地域活性化の拠点となる「道の駅」の機能強化
- ・ アジア地域を中心としたクルーズ船の誘致と官民一体となった受入環境の整備 など

基本目標 2 移住・定住対策

秋田の良さをまるごと情報発信し、移住希望者とのマッチングを図るとともに、移住希望者が求める多様なライフスタイルに対応した総合的な環境整備や、移住後のきめ細かいフォローアップ等により移住・定住を促進する。

また、特色ある教育に磨きをかけるなど、県内大学等の魅力アップを図るほか、就職支援体制の充実、県内企業の人材確保により、若者の県内定着を促進する。

(1) 首都圏等からの移住の促進

(ア) 秋田の良さをまるごと伝える情報発信

- ・ 多様なメディアを活用した移住情報の発信や相談窓口の設置等による「秋田暮らし」の魅力を伝える情報の発信 など

(イ) 移住希望者の受入体制の充実・強化

- ・ 「地域にある仕事」の発掘など多様なライフスタイルに対応した支援メニューの充実 など

(ウ) 多様なニーズに対応した移住の促進

- ・ 起業等により地域に活力をもたらす「ドチャベン事業」等による移住の促進
- ・ 全国トップクラスの良好な教育・子育て環境など、本県の強みの P R による移住の促進
- ・ 動物愛護センター（仮称）の整備など「動物にやさしい秋田」の取組の推進 など

(エ) 移住後のフォロー体制の整備

- ・ 市町村や地域と一体となった移住後のサポート体制の充実と移住者を支援する全県的なネットワークの構築 など

(2) 若者の県内定着の促進

(ア) 県内大学の強みを生かした人材育成と若者の定着促進

- ・グローバル社会で活躍する人材や成長産業等を支える技術系人材、地域医療等を担う人材を育成する大学等への支援 など

(イ) 大卒・高卒者の県内定着の促進

- ・全国最大規模の奨学金返還助成制度などによる大卒者等の県内定着の促進
- ・首都圏や仙台圏の大学とのAターン協定締結の推進や県内外の学生への情報提供の充実
- ・高校生を対象としたキャリア教育の一層の充実 など

基本目標3 少子化対策

誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう官民一体となった取組を展開し、「脱少子化」への機運を醸成するとともに、男女が出会い、家庭を持ち、夫婦が理想とする数の子どもを産み育てるため、各世代のニーズを踏まえた経済的支援を実施する。

(1) 官民一体となった脱少子化県民運動の展開

(ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

- ・官民一体で少子化対策に取り組む「ベビーウェーブ・アクション」を中心とした県民運動の更なる推進 など

(イ) 仕事と子育てを両立できる環境づくり

- ・従業員の仕事と子育ての両立に取り組む企業への支援による子育てしやすい職場づくりの更なる推進 など

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア) 多様な主体による出会いの機会の提供

- ・あきた結婚支援センターの成婚報告者数をより増やすためのマッチング機能の更なる強化と会員登録の促進 など

(イ) 安心して出産・子育てできる環境づくり

- ・妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」の設置拡大
- ・家庭の経済状況等にかかわらず、地域で学校以外の学習機会の場を提供する仕組みづくりの推進 など

(ウ) 子育て家庭の経済的負担の軽減

- ・福祉医療費及び保育料の負担に対する全国トップレベルの支援

- ・子どもと暮らしやすい居住環境を整備する子育て世帯への住宅リフォーム支援
- ・大学等への進学を後押しする多子世帯向けの負担のピークに合わせた奨学金の貸与 など

基本目標 4 新たな地域社会の形成

地域資源の活用を促進するとともに、地域活動や社会活動の担い手となる若者・女性等の活動を支援するほか、多様な主体との協働を促進し、コミュニティの維持・活性化を図る。

また、住民サービスの確保に向けた市町村との連携や機能合体の推進など、人口減少社会にあってもその水準を維持し、安心して暮らせる仕組みをつくる。

(1) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域資源の活用等による地域コミュニティの再構築

- ・元気なシニアがスキルやノウハウを生かして活躍できる社会づくりの推進
- ・地域社会の持続的な発展を促進する地域の元気ムラ活動や市町村の地域コミュニティ対策等に対する積極的な支援
- ・人口減少下での住民サービスの維持・向上に向けた「県と市町村の機能合体」や「市町村同士の広域連携」等の一層の推進
- ・都市のコンパクト化や中心市街地の活性化等、人口減少と高齢化に対応したまちづくりの推進と、これらに連動した交通体系のあり方の検討
- ・第三セクター鉄道や路線バスなど地域公共交通への支援を通じた路線の維持と、地域の実情に応じた多様な生活交通手段の確保 など

(イ) 若者、女性の活躍支援

- ・女性が個性と能力を十分に発揮して活躍するための社会的機運の更なる醸成及び実践に向けた取組の推進
- ・女性活躍推進法に基づく民間企業における一般事業主行動計画策定への支援や男女イキイキ職場宣言事業所の拡大
- ・秋田の未来を切り拓く青少年の地域貢献活動や若者団体による地域活性化に向けた取組への支援
- ・すべての子ども・若者が希望を持って社会生活を送るための子ども・若者の自立に向けた支援 など

(2) 安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア) 健康で安心な暮らしの確保

- ・中高年齢者が希望に応じて移住・住み替えを行い、多世代と協働して健康でアクティブな生活を実現するC C R Cの導入によるまちづくりの促進
- ・冬季も安全・安心に暮らすことができる総合的な雪対策の推進 など

(イ) 安全・安心まちづくり

- ・地域コミュニティの拠点や防災拠点、人が多く集まる場所における Wi-Fi 等の通信インフラ整備等による情報提供機能の強化
- ・高齢者対策を最重点とする総合的な交通事故防止対策の推進 など

(ウ) インフラのマネジメント強化

- ・人口減少に対応した広域的な生活排水処理の推進
- ・老朽化が進行する社会資本の適切な維持・点検と長寿命化の推進
- ・長期的な視野に立った「あきた公共施設等総合管理計画」に基づく効率的・経済的な施設管理の推進
- ・公共投資の安定的・持続的確保、担い手の確保・育成の促進等による建設産業の活性化 など

基盤となる横断的な取組

- ・県人会等のネットワークを活用した「オール秋田」での施策展開

Ⅲ 県民の生活を支える基盤づくりの着実な推進

最終年度を迎える「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく取組を中心に、県民の日々の生活を支える基盤の充実強化を図るため、次の施策・事業を推進する。

(1) 元気な長寿社会の実現

《元気で長生きできる健康づくりの推進》

- ・健康寿命の更なる延伸と元気高齢先進県に向けた、地域の人材や企業等との連携による生活習慣病等予防対策の推進
- ・がん検診受診率向上対策の推進とがん患者の就労や社会参加への支援

《いのちと健康を守る医療提供体制の充実強化》

- ・地域の実情に応じて、良質で適切な医療を効率的・安定的に提供していくための地域医療構想に基づく医療提供体制の整備
- ・住み慣れた地域で安心して生活していくための地域包括ケアシステムの確保に不可欠な在宅医療提供体制の構築

《高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり》

- ・県民総参加による全国健康福祉祭（ねんりんピック）の開催
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護・福祉の連携強化の促進
- ・認知症になっても安全・安心に暮らせる地域づくりを目指した総合的な認知症施策の推進

- ・ひきこもり当事者の社会とのつながりを支援するための相談体制の充実と社会参加の機会の提供
- ・介護人材マネージャーによるマッチング機能の強化など、総合的な介護人材確保対策の推進
- ・働きやすい環境づくりに向けた介護サービス事業所の「認証評価制度」の運用開始

《民・学・官一体となった総合的な自殺予防対策の推進》

- ・ゲートキーパーの養成による家庭・職場・地域における気づきや見守りの促進等の支援体制の強化

など

(2) 未来を担う人づくりの推進

《自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成》

- ・起業体験活動など、子どもが主体的に地域の課題等を解決する取組の充実
- ・工業高校等における大学・民間企業との連携による社会のニーズに応えた地域産業を支える人材の育成

《確かな学力の定着と独創性や表現力の育成》

- ・少人数学習の推進など、子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導ができる環境の充実
- ・授業改善の推進等を目的とした中高教員の交流など、中・高連携の一層の推進
- ・高校生を対象とした県独自の学力・学習状況調査による授業改善の取組

《豊かな心と健やかな体の育成》

- ・学校体育の一層の充実と運動部活動の活力アップに向けた取組の充実
- ・教育施設のセカンドスクールの利用による体験活動の促進

《良好で魅力ある学びの場づくり》

- ・県立学校の老朽校舎等の改築
- ・地域住民と学校が一体となり教育体制を構築するコミュニティ・スクールの導入促進

《子どもの貧困対策の推進》

- ・貧困の連鎖を防ぎ、すべての子どもが将来に希望を持てる社会づくりを目指した、生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援等の実施

《生涯学習を行動に結びつける環境と芸術・文化に親しむ機会づくり》

- ・若い世代の「行動人」等の地域づくりへの参画を推進
- ・世界文化遺産、無形文化遺産への登録や日本遺産認定に向けた取組を推進

《秋田の文化力の更なる向上》

- ・次代の文化を担う人材の育成と、文化に触れ親しむ環境の整備
- ・地域の文化資源に光を当て住民の力で磨き上げることによる、新たな文化の価値の創造
- ・県・市連携文化施設の整備の推進

《「スポーツ立県あきた」の推進》

- ・全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の育成と強化
- ・ライフステージに応じたスポーツ活動の充実と住民が主体的に参画できる地域のスポーツ環境の整備
- ・スポーツ活動を支える将来の施設整備のあり方の検討

など

(3) 県民の安全・安心の確保と生活環境の整備

《県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進》

- ・高速道路ネットワークの早期完成を目指した、未着手区間の早期事業化に向けた取組の強化や事業中区間の整備促進
- ・高速道路を補完する幹線道路ネットワークの形成

《県土の保全と防災力強化》

- ・河川整備、土砂災害警戒区域等指定の重点推進、津波防災等による防災・減災対策の推進
- ・ハザードマップ作成や避難計画の策定による火山防災対策の推進
- ・地域防災力の充実強化及び国土強靱化の推進

《県民総参加による環境保全対策の推進》

- ・次世代に対する環境教育・学習の充実や、県民参加による地球温暖化対策の推進
- ・八郎湖の新たな湖内浄化対策やアオコ対策等の推進
- ・「国立公園満喫プロジェクト」と連携した自然公園の魅力の発信及び施設の整備
- ・新たな事業計画に基づく野生鳥獣の適正管理の推進と狩猟者の育成・確保

《安全で安心な生活環境の確保》

- ・自主防犯活動団体の取組支援を含む総合的な防犯活動や、犯罪被害者等に対する支援及び普及啓発活動の推進
- ・高齢者の特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動の推進
- ・住宅の増改築・リフォーム等の支援による良好な居住環境の確保

など